

周産期医学

ナンバリング:N4-S2-L09

責任者・コーディネーター	成育看護学講座 西里 真澄 講師		
担当講座・学科(分野)	成育看護学講座、産婦人科学講座		
対象学年	4	区分/単位数	講義/1単位
期間	前期		

・学修方針(講義概要等)

周産期の各期に必要な診断法や検査法、その際に必要な助産ケアの実際について、その基本を理解する。具体的には妊娠期および分娩期に行われる諸検査、誘発・促進分娩、分娩時裂傷と縫合、母体救命および新生児蘇生にまつわる助産ケアについて学ぶ。

・教育成果(アウトカム)

妊娠期・分娩期に必要な診断法や技術について基本事項を学ぶことにより、必要な助産ケアについて考察することができる。また、基本的な手技についてはモデル人形等を用いて実施することができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。

2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。
5	患者との関係性のアセスメントを行い、看護を受ける人が自ら持つ力を高められるような援助理論と方法を身につける。
6	災害等の危機的状況においてもできるかぎり平常時と同様のケアを提供できるような構想力を身につける。
7	保健医療福祉システムの中で、多職種連携を図り、看護の機能と看護職者の役割を理解し、調整機能を果たすための基礎的能力を身につける。

・到達目標(SBO)

1. ケアの対象となる人々を理解するうえで必要な概念、考え方を説明できる。
2. 妊娠期・分娩期・産褥期の異常の病態・治療について説明できる。
3. 周産期の異常やハイリスク妊産婦について学び、予防的関わりや異常への早期対処方法を説明できる。
4. 周産期診療の中で行われる諸検査(超音波断層法診断、分娩監視装置の判読など)について、基本事項を理解し説明できる。
5. 急速遂娩の適応と禁忌、産科手術、薬物療法、救急時の対応について説明できる。
6. 会陰縫合術などの産科的医療処置について、基本事項を理解し縫合演習を通じて実践できる。
7. 緊急時の対応における助産師の役割ならびにチーム医療における協働・連携について説明できる。

・授業日程

【講義】

会場： マルチ3-A実習室

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
4/7 火 3限	<p>【授業内容】周産期総論 ・助産師として共に携わる本邦産婦人科治療の実際を理解できる。</p> <p>【関連するSBO】1、3、7</p> <p>【事前学修:60分】 ・教科書(助産学講座6)P2~4を読み、「母子を取り巻く社会背景と助産師に求められる能力」を確認する。</p> <p>【事後学修:180分】 ・周産期における健康上の課題と予防と助産師の役割について要点をまとめる。</p>	産婦人科学講座 馬場 長 教授

4/13 月 3限	<p>【授業内容】母体救命の実際 ・母体救命において重要なことを説明できる。 ・グレードA(超緊急腹式帝王切開術)の適応・必要性を理解し説明できる。 ・緊急時の対応における助産師の役割ならびにチーム医療における協働・連携について説明できる。</p> <p>【関連するSBO】 1、2、3、5、7 【事前学修:60分】 ・助産診断技術学(ハイスク)(3年後期)「分娩期の異常事例に対する助産診断とケア②」を復習する。 【事後学修:120分】母体救命について要点をまとめ、WebClassに掲載された小テストにより理解度を確認する。</p>	産婦人科学講座 羽場 徹 助教
4/14 火 4限	<p>【授業内容】周産期における諸検査(講義・演習) ・周産期診療の中で行われる諸検査(超音波断層法診断)について理解できる。 ・諸検査に伴う注意事項や必要な助産ケアについて説明できる。</p> <p>【関連するSBO】 1、3、4 【事前学修:60分】 助産診断技術学(ローリスク)(3年後期)「妊娠経過に対応したアセスメントと助産ケア」における胎児の健康状態の評価について復習する。 【事後学修:120分】 ・検査の方法や診断の視点についてWebClassに掲載された小テストにより理解度を確認する。</p>	産婦人科学講座 小山 理恵 特任教授
4/21 火 4限	<p>【授業内容】合併症妊娠 ・合併症妊娠の病態・治療について説明できる。 ・ハイリスク状態にある妊産婦、家族への助産師が行う支援について説明できる。</p> <p>【関連するSBO】 1、2、3、7 【事前学修:60分】助産診断技術学(ハイスク)(3年後期)「妊娠期の異常事例に対する助産診断とケア① 合併症妊娠」を復習する。 【事後学修:120分】合併症妊娠について要点をまとめ、WebClassに掲載された小テストにより理解度を確認する。</p>	産婦人科学講座 川村 花恵 助教
4/22 水 3限	<p>【授業内容】妊娠期の異常 ・妊娠期の異常について病態・治療について説明できる。 ・正常からの逸脱を早期に発見するための観察とアセスメント、予防・対処方法について説明できる。</p> <p>【関連するSBO】 1、2、3、7 【事前学修:60分】助産診断技術学(ハイスク)(3年後期)「妊娠期の異常事例に対する助産診断とケア①、②」を復習する。 【事後学修:120分】妊娠期の異常について要点をまとめ、WebClassに掲載された小テストにより理解度を確認する。</p>	産婦人科学講座 黒川絵里加 特任助教
4/24 金 3限	<p>【授業内容】分娩期の異常 ・分娩機序における異常と対応について説明できる。 ・産科危機的出血の診断から治療について説明できる。 ・正常からの逸脱を早期に発見するための観察とアセスメント、予防・対処方法について説明できる。</p> <p>【関連するSBO】 1、3、5、7 【事前学修:60分】母性看護方法論(2年後期)の「分娩の生理、分娩機序」「分娩第1期・第2期の看護」を復習する。 【事後学修:120分】分娩期の異常について要点をまとめ、WebClassに掲載された小テストにより理解度を確認する。</p>	産婦人科学講座 岩動 ちず子 特任講師
4/24 金 4限	<p>【授業内容】分娩時の麻酔の管理と助産ケア ・硬膜外麻酔法、脊髄クモ膜下麻酔の適応・合併症・麻酔管理など基本事項を理解し、助産ケアについて説明できる。</p> <p>【関連するSBO】 1、3、5、7 【事前学修:60分】 ・疾病論Ⅱ(2年前期)「麻酔による生体反応、合併症の発症と予防」を復習する。 【事後学修:120分】 ・分娩時の麻酔の管理と助産ケアについて要点をまとめ、Webclassに掲載された小テストにより理解度を確認する。</p>	成育看護学講座 西里 真澄 講師
4/27 月 1限	<p>【授業内容】会陰切開および裂傷後の縫合、分娩誘発・促進に伴う判断とケア(演習) ・分娩介助術に伴う分娩損傷について理解し、助産ケアについて説明できる。 ・助産師が行う分娩損傷の創部縫合術の実際を、演習を通して実践できる。 ・子宮収縮薬使用時の産婦と胎児の観察内容が説明できる。陣痛誘発・促進の適応となる状態をアセスメントできる。</p> <p>【関連するSBO】 1、3、5、6、7 【事前学修:60分】母性看護方法論(2年後期)の「分娩損傷」について復習する。 【事後学修:90分】分娩時損傷と縫合術の要点をまとめる。 【期末試験に向けた取り組み450分以上】</p>	成育看護学講座 蛸崎 奈津子 教授 西里 真澄 講師 高橋 淳美 講師

・教科書・参考書等

教:教科書 参:参考書 推:推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	助産学講座6 助産診断・技術学Ⅱ[1] 妊娠期 第6版	我部山キヨ子 編	医学書院	2021
教	助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ[2] 分娩期・産褥期 第7版	我部山キヨ子 編	医学書院	2026
参	胎児心拍数陣痛図の判読と解釈・対応	日本産婦人科医会	日本産婦人科医会	2024
参	病気がみえる vol.10 産科 第4版	医療情報科学研究所 編集	メディックメディア	2018
教	助産業務ガイドライン 2024	日本助産師会助産業務ガイドライン改訂検討特別委員会 編	日本助産師会出版	2025
教	写真でわかる助産技術アドバンス 新訂第2版	中根直子 監 他	インターメディカ	2025
教	マタニティアセスメントガイド 新訂第5版	吉沢豊予子 編 他	メディカル・サイエンス・インターナショナル	2023
参	産婦人科診療ガイドラインー産科編2023 (PDF版) https://www.jsog.or.jp/activity/pdf/gl_sanka_2023.pdf	日本産婦人科学会 日本産婦人科医会	日本産婦人科学会	2023

・成績評価方法

【総括的評価】筆記試験(70%)、4月27日の演習GW(30%)にて評価する。GWは授業内で配布する評価表に沿って評価する。

【形成的評価】

・WebClassに掲載する授業内容毎の小テストにより学修状況ならびに理解度を確認する。なお、小テストの点数は成績に反映しない。

DP	SBO	小テスト	定期試験	課題	GW	実技	その他	合計
3~7	1~3		70					70
2~7	3~7				30			30
合計		0	70	0	30	0	0	100

〈備考〉

・特記事項・その他

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

小テストや事後学修ノートから多数の学生が理解していない内容について、WebClassでコメントを伝える等、学生にフィードバックし、内容の理解と知識の定着を図る。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

助産師(別表2):助産診断・技術学

【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】

当該科目に関連する実務経験の有無 有

大学病院の医師および助産師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を事例を交えて行う。

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター(VPL-FWZ60)	1	講義・演習用スライド投影
講義	助産演習モデルセット(内診・分娩用外陰部Ⅱ型)	1	分娩期の診断
講義	裂傷縫合トレーニングモデル	10	会陰切開の縫合技術修得
演習	縫合セット一式	10	会陰切開の縫合技術修得
講義	ラジアントウォーマー	1	新生児のケア 技術修得
講義	多目的実習用新生児モデル コーケンベビー	2	新生児のケア 技術修得
講義	分娩台	2	分娩期の麻酔管理
講義	妊婦体験ジャケット	2	分娩期の麻酔管理